



大麻製品、ケタミンの押収量が過去最高

～令和3年の東京税関における不正薬物密輸入事犯の取締り状況～

東京税関において令和3年中に摘発した不正薬物^(※1)は、合計で181件/約472kg及び約2万1千錠となった。

内訳は、覚醒剤62件/約368kg、大麻51件/約69kg、あへん1件/約4kg、麻薬43件/約29kg及び約2万1千錠、向精神薬1件/約0.1kg、指定薬物23件/約2kgであった。

[主な特徴]

- ◆ 航空機旅客からの不正薬物の摘発件数が減少
- ◆ 覚醒剤は航空貨物、国際郵便物からの摘発件数、押収量が共に増加
- ◆ 大麻（大麻製品^(※2)を含む）の摘発件数、押収量が共に増加
- ◆ MDMAの摘発件数、押収量が共に横ばい
- ◆ ケタミンの摘発件数、押収量が過去最高
- ◆ 航空貨物、国際郵便物を利用したショットガン方式による密輸の摘発
- ◆ ベトナム来不正薬物の摘発件数が過去最高

(※1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
資料「社会悪物品の摘発実績」参照

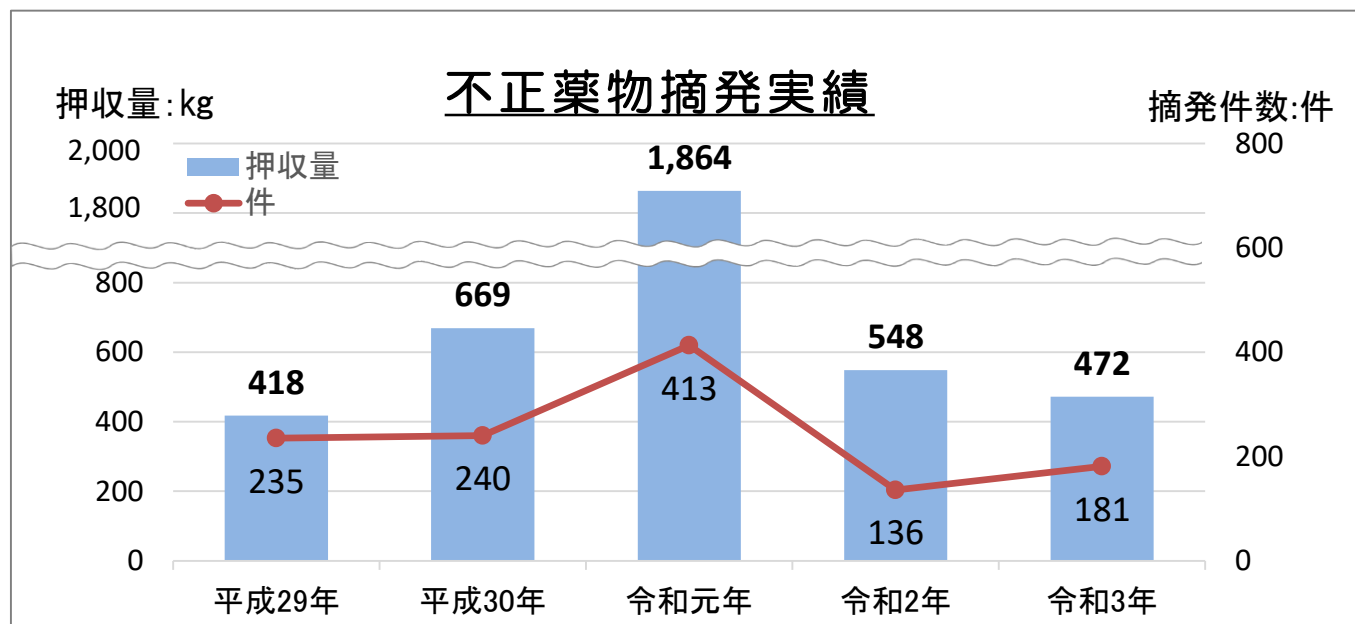
(※2) 大麻製品とは、液状大麻、菓子等大麻成分を含むものをいう。

(注1) 令和元年とは平成31年1月から令和元年12月までをいう、以下同じ。

(注2) 令和3年の数値は速報値である。

1 不正薬物摘発実績

- 摘発件数は181件（前年比133%）と増加、押収量は約472kg（前年比86%）と減少した。



密輸入形態

- 航空機旅客からの摘発件数は20件（前年比61%）と減少、押収量は約51kg（前年比142%）と増加した。
- 航空貨物からの摘発件数は79件（前年比127%）、押収量は約219kg（前年比162%）であり、共に増加した。
- 国際郵便物からの摘発件数は79件（前年比203%）、押収量は約54kg（前年比216%）であり、共に増加した。

形態別不正薬物摘発実績

（摘発件数／押収量）

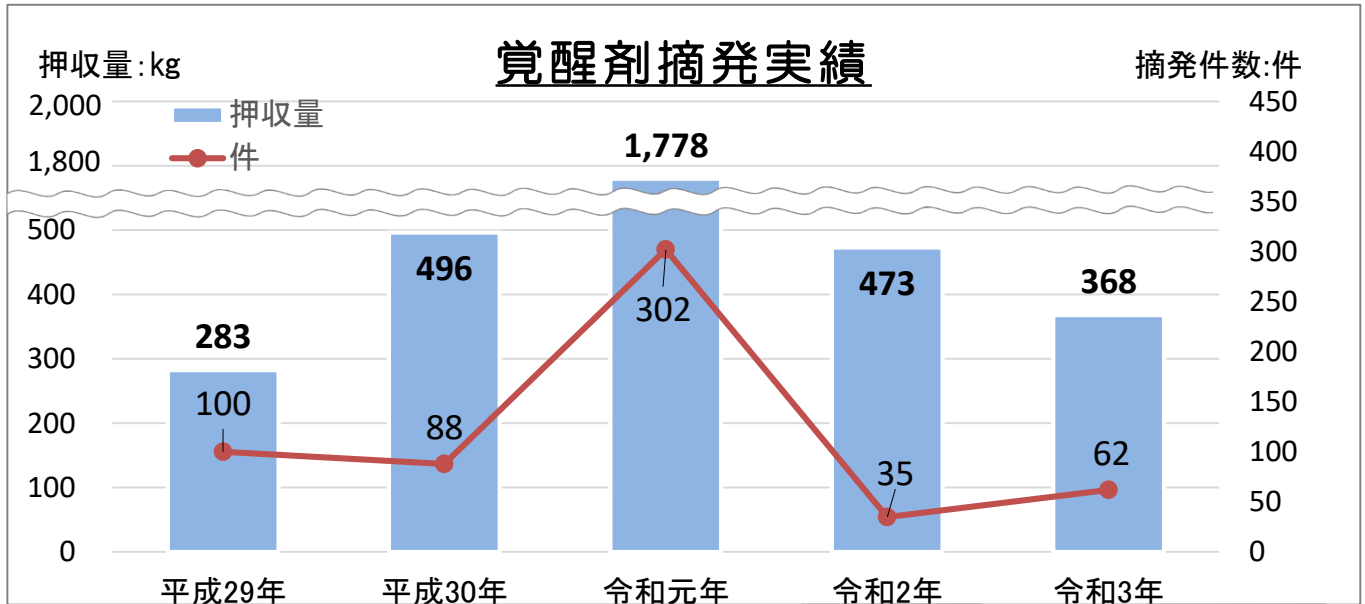
	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	120	175	127	248	239	417	33	36	20	51
商業貨物	26	155	37	345	97	328	64	487	82	366
海上貨物	1	100	4	313	2	43	2	352	3	148
航空貨物	25	55	33	32	95	286	62	135	79	219
国際郵便物	89	88	76	76	76	100	39	25	79	54
船舶乗組員等	-	-	-	-	1	1019	-	-	-	-
合計	235	418	240	669	413	1864	136	548	181	472

（注）押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

2 薬種別摘発実績

(1) 覚醒剤

- 摘発件数は62件（前年比177%）と増加し、押収量は約368kg（前年比78%）と減少した。
- 押収量は不正薬物全体の78%と大宗を占めた。



① 密輸入形態

- 航空貨物からの摘発件数は40件（前年比308%）、押収量は約162kg（前年比191%）であり、共に大幅に増加した。
- 国際郵便物からの摘発件数は16件（前年比200%）、押収量は約23kg（前年比177%）であり、共に大幅に増加した。
- 海上貨物からの摘発件数が増加し、大口事犯の摘発があった。
- 航空機旅客からの摘発件数、押収量は、令和2年以降、共に大幅な減少傾向。

形態別覚醒剤摘発実績

(摘発件数/押収量)

	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	81	169	64	122	179	352	12	24	3	35
商業貨物	6	35	13	334	87	323	15	437	43	310
海上貨物	-	-	4	313	2	43	2	352	3	148
航空貨物	6	35	9	21	85	280	13	85	40	162
国際郵便物	13	78	11	40	35	85	8	13	16	23
船舶乗組員等	-	-	-	-	1	1019	-	-	-	-
合計	100	283	88	496	302	1778	35	473	62	368

(注) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

② 仕出地

- アジア仕出しが、摘発件数の40%、押収量の62%を占めた。
- 密輸仕出地は引き続き広域化傾向。

仕出地別覚醒剤摘発実績

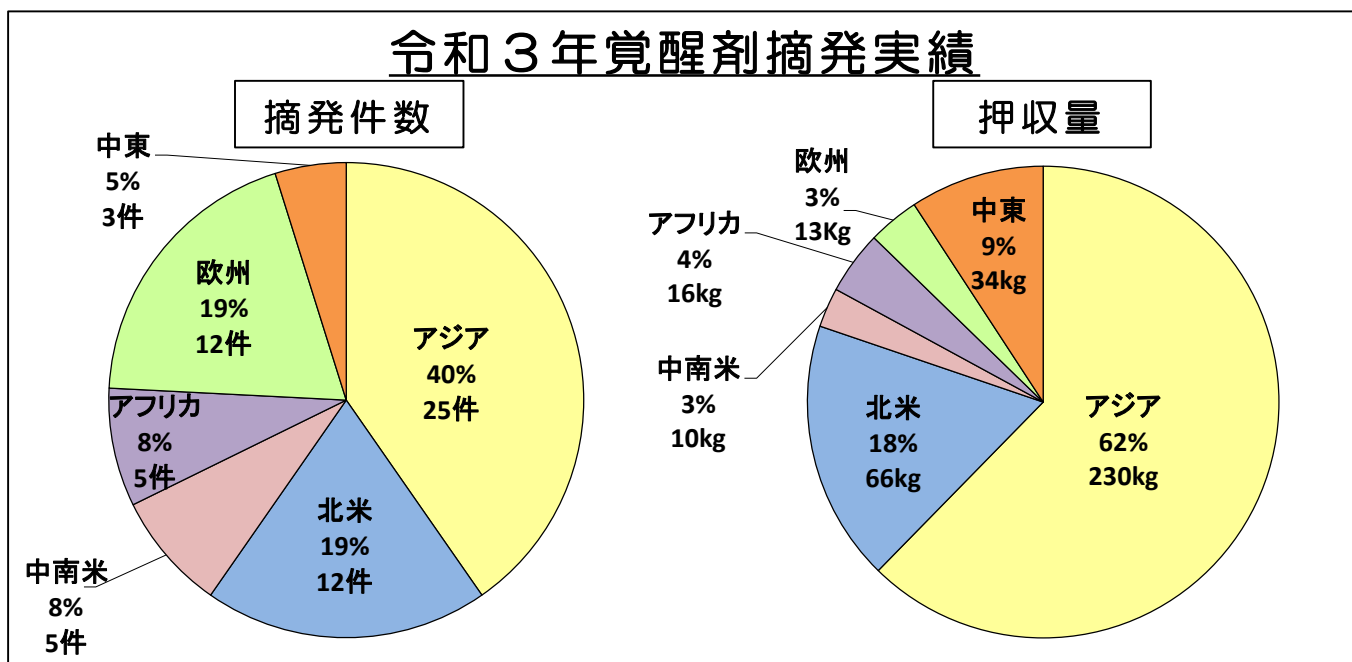
(摘発件数、押収量／構成比)

		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
ア ジ ア	件	54	54%	50	57%	150	50%	16	46%	25	40%
	kg	83	29%	397	80%	233	13%	133	28%	230	62%
北 米	件	6	6%	11	13%	76	25%	5	14%	12	19%
	kg	93	33%	33	7%	248	14%	245	52%	66	18%
中 南 米	件	5	5%	9	10%	21	7%	4	11%	5	8%
	kg	10	3%	9	2%	128	7%	48	10%	10	3%
アフリカ	件	15	15%	5	6%	8	3%	3	9%	5	8%
	kg	70	25%	38	8%	20	1%	21	4%	16	4%
欧 州	件	10	10%	7	8%	27	9%	3	9%	12	19%
	kg	16	6%	16	3%	40	2%	7	1%	13	3%
中 東	件	7	7%	4	5%	19	6%	4	11%	3	5%
	kg	12	4%	4	1%	91	5%	20	4%	34	9%
不 明	件	3	3%	2	2%	1	0%	-	-	-	-
	kg	0	0%	0	0%	1019	57%	-	-	-	-
合計	件	100	100%	88	100%	302	100%	35	100%	62	100%
	kg	283	100%	496	100%	1778	100%	473	100%	368	100%

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

令和3年覚醒剤摘発実績



【主な摘発事例】

【中国来海上貨物】

➢ アルミニウムプレートに**覚醒剤約15kg**を隠匿 (令和3年8月 東京税関本関摘発)



【メキシコ来航空貨物】

➢ パレットに**覚醒剤約8kg**を隠匿 (令和3年11月 東京税関本関摘発)



【主な摘発事例】

【香港来海上貨物】

- 鉄製磁気セパレーター及びゴム製防眩材 4個に**覚醒剤約133kg**を隠匿
(令和3年5月 東京税関本関摘発)



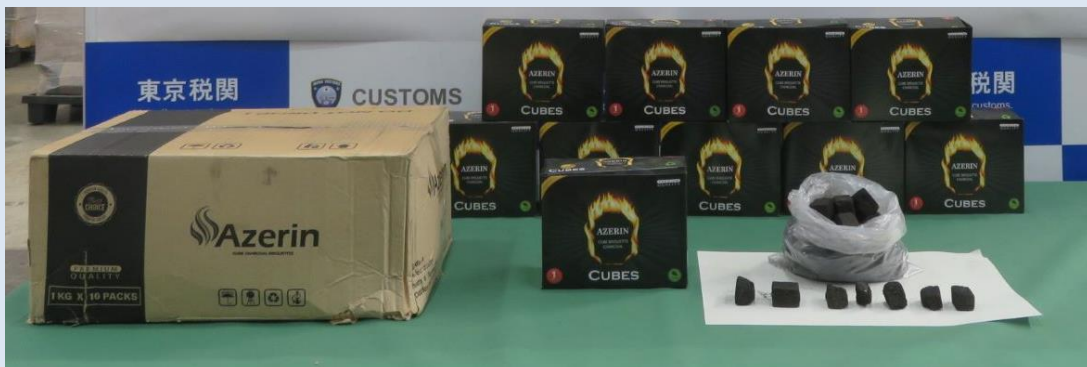
鉄製磁気セパレーター



ゴム製防眩材

【トルコ来海上貨物】

- おが炭約24トン内に**覚醒剤を含有する黒色固形物相当量**を隠匿 ※重量は鑑定中
(令和3年11月 東京税関本関摘発)



【主な摘発事例】

【ベルギー来国際郵便物】

- 外装ダンボール側面を二重工作し**覚醒剤を含有する錠剤約800g**を隠匿
(令和3年8月 東京外郵出張所摘発)



【ウクライナ来航空機旅客】

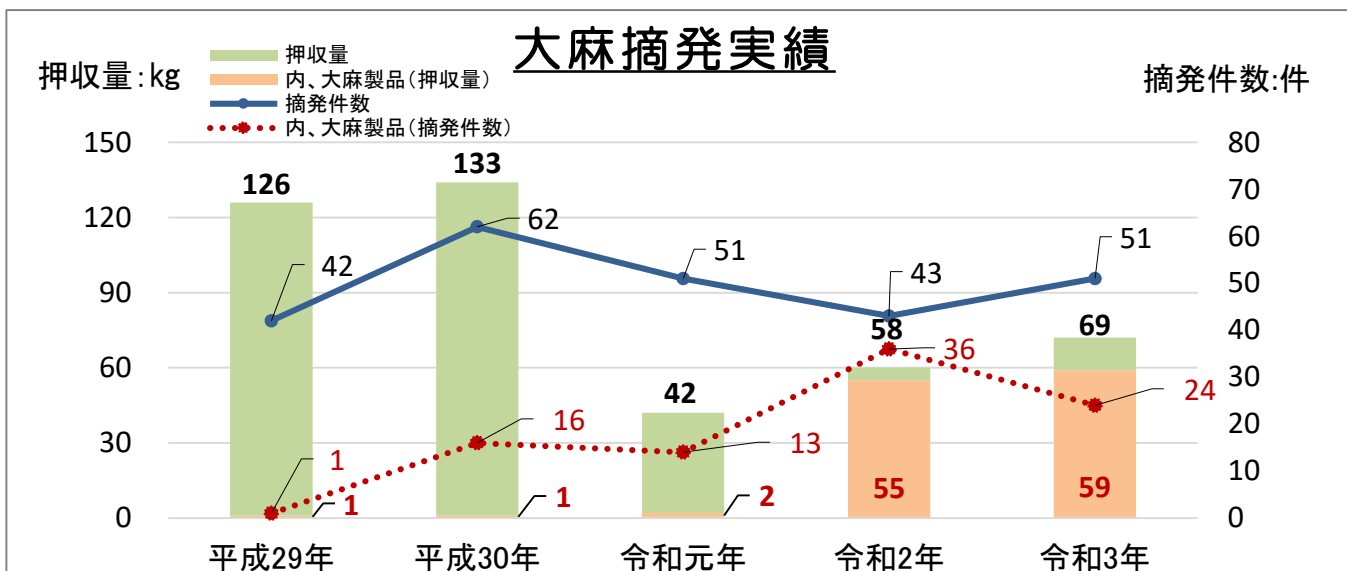
- ワインボトル等に**覚醒剤約200g**を溶解し隠匿
(令和3年10月 羽田税関支署摘発)



(2) 大麻

- ▶ 大麻（大麻草、大麻樹脂等（大麻製品（※）含む））の摘発件数は51件（前年比119%）、押収量は約69kg（前年比119%）であり、共に増加した。
- ▶ 大麻製品の摘発件数は24件（前年比67%）と減少、押収量は約59kg（前年比107%）と増加し、過去最高であった。
- ▶ 大麻製品のうち液状大麻の摘発件数は22件、押収量は約55kgであった。

（※）大麻製品とは、液状大麻、菓子等大麻成分を含むものをいう。



① 密輸入形態

- ▶ 国際郵便物からの摘発件数は25件（前年比357%）、押収量は約25kg（前年比250%）であり、共に大幅に増加した。
- ▶ 航空貨物からの摘発件数は20件（前年比77%）、押収量は約34kg（前年比71%）であり、共に減少した。
- ▶ 航空機旅客からの摘発件数は6件（前年比60%）と減少、押収量は約10kg（前年比約58倍）と増加した。

形態別大麻摘発実績

(摘発件数/押収量)

	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	23	2	17	92	21	23	10	0	6	10
商業貨物	10	118	14	10	7	5	26	48	20	34
海上貨物	1	100	-	-	-	-	-	-	-	-
航空貨物	9	18	14	10	7	5	26	48	20	34
国際郵便物	9	6	31	31	23	14	7	10	25	25
船舶乗組員等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	42	126	62	133	51	42	43	58	51	69

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

② 仕出地

➤ 北米仕出しが、摘発件数の76%、押収量の90%といずれも大半を占めた。

仕出地別大麻摘発実績

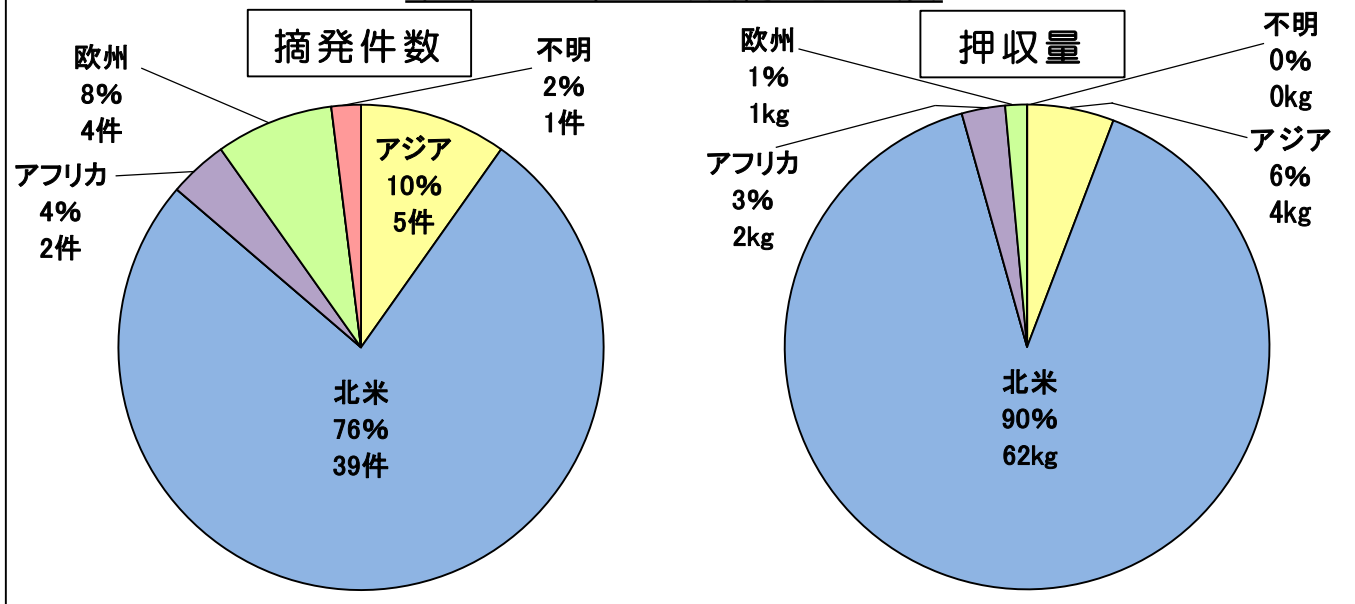
(摘発件数、押収量／構成比)

		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
ア ジ ア	件	10	24%	2	3%	2	4%	1	2%	5	10%
	kg	11	9%	1	1%	9	21%	3	5%	4	6%
北 米	件	21	50%	50	81%	42	82%	42	98%	39	76%
	kg	14	11%	130	98%	33	78%	55	95%	62	90%
中 南 米	件	-	-	1	2%	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	1	0%	-	-	-	-	-	-
アフリカ	件	1	2%	-	-	-	-	-	-	2	4%
	kg	100	79%	-	-	-	-	-	-	2	3%
欧 州	件	4	10%	7	11%	7	14%	-	-	4	8%
	kg	1	1%	1	1%	0	0%	-	-	1	1%
中 東	件	-	-	2	3%	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	0	0%	-	-	-	-	-	-
不 明	件	6	14%	-	-	-	-	-	-	1	2%
	kg	0	0%	-	-	-	-	-	-	0	0%
合計	件	42	100%	62	100%	51	100%	43	100%	51	100%
	kg	126	100%	133	100%	42	100%	58	100%	69	100%

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

令和3年大麻摘発実績



【主な摘発事例】

【米国来国際郵便物】

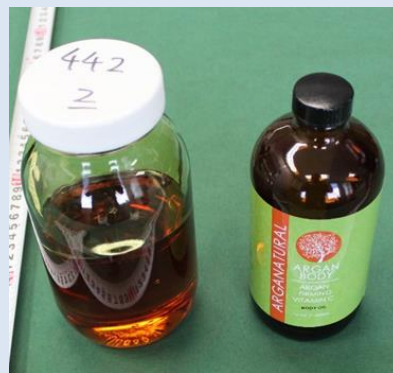
- 電子タバコカートリッジに収納の**液状大麻約 4 g**を摘発
(令和3年5月 東京外郵出張所摘発)



ヴェポライザー
(吸煙具)

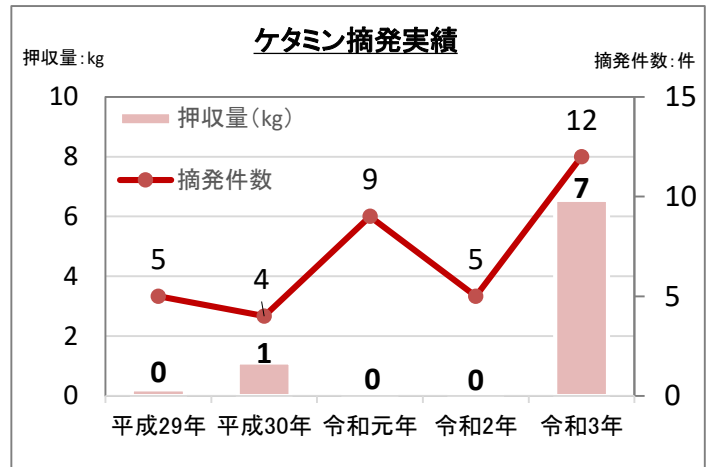
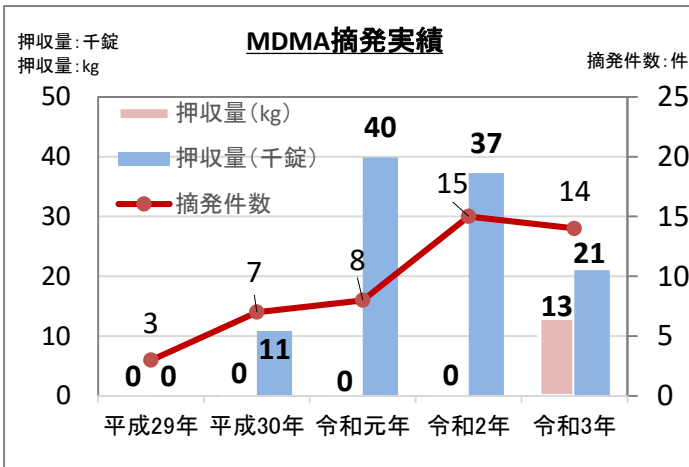
【米国来国際郵便物】

- シャンプーボトル等に**液状大麻約 4 kg**を隠匿
(令和3年11月 東京外郵出張所摘発)



(3) 麻薬

- MDMAの摘発件数は14件（前年比93%）、押収量は錠剤型が約2万1千錠であり、粉末状及び液状物が約13kgであった。
- コカインの摘発件数は14件（前年比127%）、押収量は約9kg（前年比61%）であった。
- ケタミンは摘発件数12件（前年比240%）、押収量約7kg（前年比約125倍）であり、共に過去最高となった。
- その他麻薬は、LSD、GHB、サイロシビンを含有するきのこ類（通称：マジックマッシュルーム）の摘発があった。



【主な摘発事例】

【ウクライナ来航空機旅客】

➤ ワインボトルに**MDMA約400g**を溶解し隠匿

(令和3年10月 羽田税関支署摘発)



蒸発乾固後の淡褐色結晶

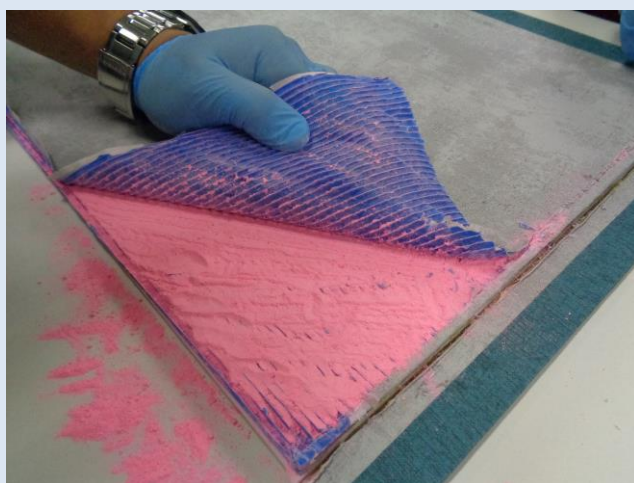
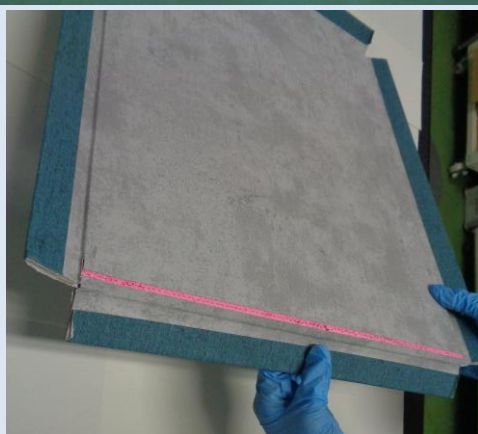
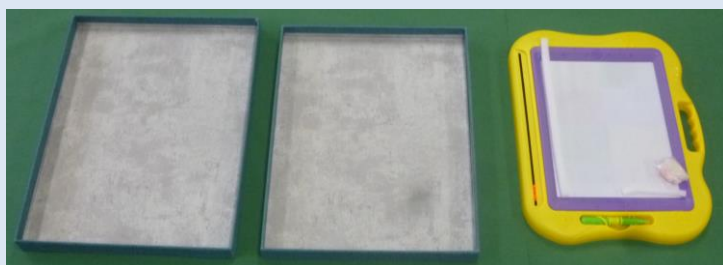


【主な摘発事例】

【フランス来航空貨物】

➤ 化粧箱にMDMA粉末約4kgを隠匿

(令和3年10月 東京税関本関摘発)



【ブラジル来航空機旅客】

➤ スーツケースを二重工作しコカイン約2kgを隠匿

(令和3年11月 羽田税関支署摘発)



3 密輸の特徴（その1）

ショットガン方式による密輸の摘発

- ▶ 航空貨物、国際郵便物を利用し同時期に名宛先、配送先を分散して不正薬物の密輸を行うショットガン方式がみられた。

【主な摘発事例】

【マレーシア来航空貨物】
小人置物に**覚醒剤約2kg**を隠匿
(令和3年2月 東京税関本関摘発)



【マレーシア来航空貨物】
リンゴ置物に**覚醒剤約4kg**を隠匿
(令和3年2月 東京税関本関摘発)



【マレーシア来航空貨物】
リンゴ置物に**覚醒剤約3kg**を隠匿
(令和3年7月 東京税関本関摘発)



※航空貨物を利用しショットガン方式で送られてきたもの（同様の陶器様の置物ものに隠匿）

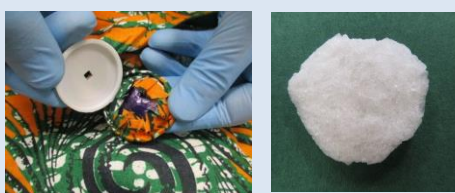
【イギリス来国際郵便物】
くるみボタンに**覚醒剤約2kg**を隠匿
(令和3年8月東京外郵出張所摘発)



【イギリス来国際郵便物】
くるみボタンに**覚醒剤約2kg**を隠匿
(令和3年8月東京外郵出張所摘発)



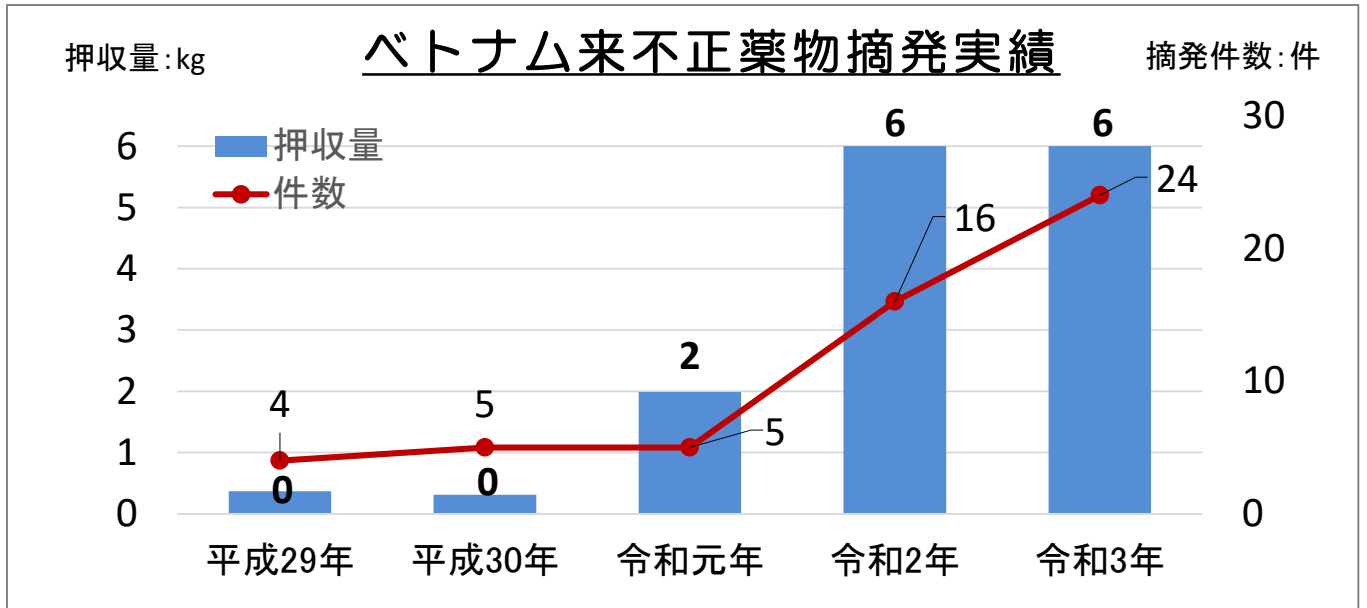
【イギリス来航空貨物】
くるみボタンに**覚醒剤約2kg**を隠匿
(令和3年9月東京税関本関摘発)



※航空貨物、国際郵便物を利用しショットガン方式で送られてきたもの（同種衣類に隠匿）

ベトナム来不正薬物の摘発件数が過去最高

- 摘発件数は24件と過去最高であり、指定薬物含有タバコの摘発が10件と全体の4割を占めた。
- 押収量は約6kgと横ばいであった。
- 薬種は覚醒剤、大麻、MDMA、ケタミン、向精神薬、指定薬物と多種多様。



薬種別摘発実績

(摘発件数、押収量)

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
覚 醒 剤	件	2	3	3	6	2
	kg	0	0	2	3	0
大 麻	件	2	-	-	1	3
	kg	0	-	-	3	4
M D M A	件	-	1	1	5	2
	kg	-	0	0	0	0
	千錠	-	0	0	2	0
ケ タ ミ ン	件	-	1	1	4	5
	kg	-	0	0	0	1
向 精 神 薬	件	-	-	-	-	1
	kg	-	-	-	-	0
指 定 薬 物	件	-	-	-	-	11
	kg	-	-	-	-	1
合 計	件	4	5	5	16	24
	kg	0	0	2	6	6
	千錠	-	0	0	2	0

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

【主な摘発事例】

【ベトナム来国際郵便物】

➤ チリソースボトルに**覚醒剤約200g**を隠匿（令和3年5月 東京外郵出張所摘発）



【ベトナム来国際郵便物】

➤ 粉末飲料の袋に**大麻草約1kg**を隠匿（令和3年4月 東京外郵出張所摘発）



【主な摘発事例】

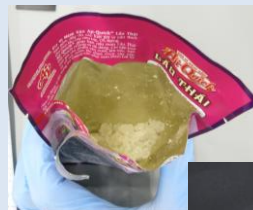
【ベトナム来航空機旅客】

- ヘアトリートメントボトルに**MDMA約250錠**を隠匿
(令和3年3月 成田税関支署摘発)



【ベトナム来国際郵便物】

- 粉末食品の袋に**ケタミン約100g**を隠匿
(令和3年6月 東京外郵出張所摘発)



【ベトナム来国際郵便物】

- お茶袋に**指定薬物含有タバコ720本**を隠匿
(令和3年6月 東京外郵出張所摘発)



社会悪物品の摘発実績

種類	年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年比
		件	100	88	302	35	62
覚醒剤	kg	283	496	1,778	473	368	78%
	件	42	62	51	43	51	119%
大麻	kg	126	133	42	58	69	119%
	件	34	44	37	7	27	386%
大麻草	kg	114	132	31	3	10	324%
	件	8	18	14	36	24	67%
大麻樹脂等	kg	12	1	11	55	59	107%
	件	-	-	-	-	1	全増
あへん	kg	-	-	-	-	4	全増
	件	25	40	44	31	43	139%
麻薬	kg	6	35	36	15	29	187%
	千錠	0	11	40	37	21	57%
ヘロイン	件	1	1	1	-	-	-
	kg	0	1	2	-	-	-
コカイン	件	6	18	24	11	14	127%
	kg	6	33	34	15	9	61%
MDMA等	件	3	7	8	15	14	93%
	kg	0	0	0	0	13	7794%
千錠	0	11	40	37	21	57%	
	件	5	4	9	5	12	240%
ケタミン	kg	0	1	0	0	7	12497%
	件	10	10	2	-	3	全増
その他麻薬	kg	0	0	0	-	0	全増
	千錠	-	0	-	-	0	全増
向精神薬	件	6	3	-	-	1	全増
	kg	0	-	-	-	0	全増
千錠	2	7	-	-	-	-	-
	件	62	47	16	27	23	85%
指定薬物	kg	2	5	8	1	2	172%
	件	235	240	413	136	181	133%
合計	kg	418	669	1,864	548	472	86%
	千錠	2	18	40	37	21	57%
銃砲	件	3	-	-	-	-	-
	丁	3	-	-	-	-	-
うち拳銃	件	3	-	-	-	-	-
	丁	3	-	-	-	-	-
拳銃部品	件	-	-	-	-	-	-
	点	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。
3. 大麻樹脂等は大麻樹脂のほか、液状大麻・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
5. 端数処理のため数値が合わないことがある。
6. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
7. 令和3年の数値は速報値である。